

ARTFUL CAMPUS

名古屋工業大学＋愛知県立芸術大学

【F+LAB】

〈テーマ〉

陶芸素材が変化していく様子をデジタル技術活用して可視化する

美術分野の両研究室では、「土を掘る」・「炎で焼く」といったプリミティブなプロセスから創作へと展開していく陶磁器制作とテクノロジーが会うことにより、相互の表現の可能性を広げるとともに、創出された作品と触れ合い、体験することで理解を深め、交流を通じて新たな可能性を追求していくための研究を行っています。

この研究交流により、実際には存在しない仮想空間に陶芸素材が変化していく様子を可視化した美しい映像作品を創出しました。

この度、その研究成果として、制作された映像作品及び陶芸作品の展示を行います。

また、第62回名古屋工業大学工大祭会期中の11月16日（土）と17日（日）の2日間、VR・MR空間に創出された映像体験と陶芸の魅力を体験するワークショップを開催いたします。

【会期】

11/6 (Wed.)

～11/17 (Sun.)

11/9.10.15は休館日

開催時間 9:00～17:00

【場所】

F+GALLERY

名古屋市昭和区御器所町
名古屋工業大学 2号館1階

【体験ワークショップ】

11/16.17

VR体験

陶芸体験

入場無料・予約不要

【問合せ】

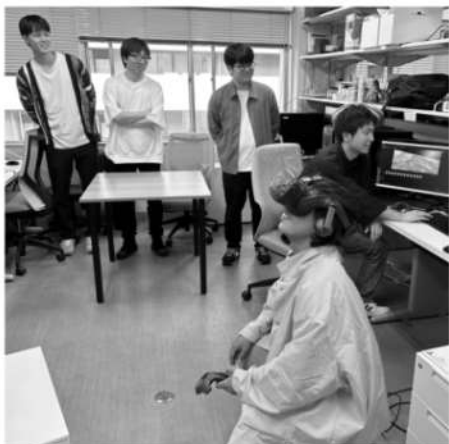
名古屋工業大学 企画広報課
052-735-5647 (平日9:00～17:30)
pr@adm.nitech.ac.jp

愛知県立芸術大学 芸術情報・広報課
0561-76-2873 (平日9:00～17:30)
geijo@mail.aichi-fam-u.ac.jp

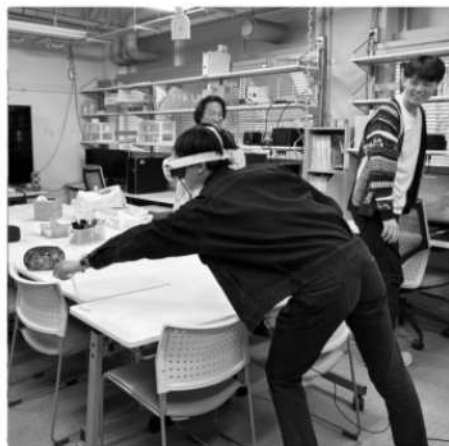
【目標・目的】

現在、名工大のデジタル研究と愛知芸大の陶磁研究が会い、刺激し合うことにより情緒的な体験研究を進行しています。「土を掘る」・「炎で焼く」といったプリミティブなプロセスから創作へと展開していく陶磁器制作の現場とVR空間やAIテクノロジーが会うことにより相互の表現の可能性を広げることを目標に取り組んでいます。

■両大学交流の様子



VR体験・釉層を立方体空間に投影



MR体験・映像内のモノを掴む



アイデアを検討

名古屋工業大学
工学専攻情報工学系プログラム

田口 亮 准教授

M2: 今村 仁 柴田 隼佑
B 4: 市川 航大 山田 晴貴



作陶体験



釉薬をかける



窯の見学

愛知県立芸術大学
陶磁専攻

佐藤 文子 准教授

M1: 永井 友雪 馬場 優佳
野口 陽平